

## 文化庁助成事業

### 生活者としての外国人のための日本語教室—初級編—を開催しました

去年に引き続き、今年もオリーブ日曜 A クラスを担当させていただきました。7回の授業を実施し、内容は、「自己紹介」、「スーパーでの買い物」、「電車の乗り方」、「住所の書き方」、「服の買い物」、「郵便局の使い方」、「病院」です。今年も去年とほぼ同じ内容で授業を実施しましたが、外国人の方に日本の生活で困ったことを伺うと、「郵便局からの不在票の処理のしかたがわからなくて困ったことがある」との貴重なご意見をいただきました。そして前回の「道案内」の授業は、「Google Map を使うから、特に人に道を聞くこともない」という学習者の声を反映させ、「郵便局の使い方」の授業を取り入れ、「道案内」の授業を無くしました。「服の買い物」の授業は急遽実施しましたが、学習者から、「裾直しができるのは知らなかった!」と言っただけでした。このように学習者の「声」を反映した授業の運営が一番大切だったように思いますし、これからも日々の授業の中で実施していきたいと思います。そして写真にもあるように、「現地に行って授業をする」という考えは今回も取り入れ、学習者からも好評でした。このような「教科書を使わない、文型積み上げ式でない」授業の有効性を今回も実感いたしました。教室の中では発話できる学習者も、いざ本物の場面に遭遇すると、緊張してしまったりしてなかなかうまく話せないこともあるそうです。こういった学習者の気持ちを考慮して、教室の中だけでなく、教室の外を授業の舞台にして授業をすることは支援者にとっても学習者にとっても新鮮で面白味があるのかなと思います。



Aクラスで一緒させていただいた、豊村さんと中須賀さん、ありがとうございました。(レポート 堀野善康)

## 中川先生のへんてこ日本語

72

### きわめて危険

「携帯電話やスマートフォンホンの歩きながらの操作は、・・・きわめて危険です。・・・やめてください。」

JRの駅のホームからこのようなアナウンスが聞こえてきた。JRのアナウンスには、しばしば苦言を呈してきた筆者だが、このアナウンスには、見事あっぱれと拍手喝采を送りたい。

「きわめて危険」「やめてください」に注意したい。つまり「たいへん危険」よりもさらに「これ以上危険なものはない」のが「きわめて危険」で、「遠慮ください」や「お控えください」よりも注意を喚起しているのが「やめてください」となる。

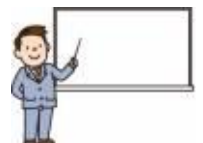
これまで幾度となく、「優先座席とその付近では通話は遠慮ください」や「食事中のおタバコは遠慮ください」と言ってきたけど、だれも通話やタバコをやめることはなかった。このようなアナウンスが流れることで、「歩きスマホ」がなくなるか、観察していきたい。

ところで最近、「たいへん」や「きわめて」に代わって、「めっちゃ」で片付けてしまう傾向があるが、これでは程度の大小を表すのは難しいであろう。「めっちゃ危険」と言われても、どのくらい危険なのかは推測しがたく、むしろ冗談ばく聞こえてしまっただけで、だれも危険とは思わないかもしれない。若者言葉には、そんな「きわめて危険」な側面が潜んでいるようだ。

「私語をやめろ」と言ってもなかなか私語の減らない学生にどう叱責すればいいか思案しているが、「授業中の私語は究極に迷惑だ。ガチでやめろ!」とでも言ったほうが通じるのだろうか。

朝廊下ですれ違ったアメリカ人留学生が、パンを片手に、かじりながら、「おはようございます」と挨拶してきた。「歩きながらの食事はきわめて失礼ですと言いたかったが、控えておいた。」

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



オリーブ日本語教室にほとんど毎週来ていた学習者のバエヌルさんとメイディさんが実習期間を終えてこの6月にインドネシアに帰国されました。インドネシアから2人のメッセージが届きました。



3年間オリーブボランティア日本語の教室で勉強していて、良かったです。2013年の8月からその教室で勉強し始めました。場所がわからなくて、グーグルマップで2時間ぐらい探して見て、やっと見つけれられました。一年間自転車で1人で栗東の高野から教室まで、40分かかりました。すごく大変でした。

なぜ、僕はそんなことまでぎっしりやったかというと、自分の目的があるからです。N2を合格したいという目的でした。意外にその一年で目的が達成できました。一年後、メイディさんにオリーブ日本語教室を紹介して、メイディさんも勉強し始めました。その後自分の後輩たちにも紹介して、みんなと一緒に勉強していました。実は自分の目的以外、日本人と仲良くしたかったです。スピーチや、旅行などやって、嬉しくて楽しかったです。

最後のメッセージを伝えたいです。日本で使われる日本語を学んで、日本語能力試験N2に合格できて、今の僕には本当に役に立ちます。大きい会社に応募できるし、給料も普通のオペレーターに比べて、2倍まで頼めました。結果はまだわからないんですが、これまでのことができすぎて良かったです。

みなさん、僕のことを忘れないでほしいです。もし、いつかまた日本に来られたら皆さんと会いたいです。3年間教えていただいて、お世話になりました。どうもありがとうございました。

Dikirim dari iPhone saya

バエヌル

### そして インドネシアに帰国してしまいました

日本は遠くに感じてます。でも遠く離れても僕たちは友だちですね。日本にいるうちに楽しい思い出をくれてありがとうございました。忘れないよ。

2013年の6月に日本のことはあまり興味なかった僕が実習生として日本に来ました。ですので日本に来た後は10ヶ月ぐらいあまりどこも行かなくてずっと部屋で日本のアニメを見ていました。あっ！ところで僕 アニメが大好きです。

その間はものすごく退屈になってきました。僕の日常は部屋、会社、スーパー だけです。まあたまには観光地へ行ったりしてきました。それでも、まだ日本はつまらないって感じていました。そして2014年の4月くらい バエさんと一緒にオリーブ日本語教室に行ってみようと思っていました。

その時です…日本は楽しくなってきました。日本での日常は楽しくなってきました。オリーブ日本語教室で日本語や日本の文化を学べると同時に日本の友だちができました。仕事でいくら疲れていても土曜日の夜は元気になりました。でもね… ある日、10分休憩時に僕 教室で眠ったことがあります。情けないなあ、僕って。しかもぐっすり眠っていた姿を友だちにみられて恥でしたよ。多分 その時は仕事が夜勤明けで お昼はあまり寝ていなくてムリやり公園で子供たちと遊びながら日本語で会話をしたりしてきましたからかなあ。言い訳しかしなくてすみませんね。2年間以上 オリーブ日本語教室へ通っていてセンセー達皆さんのおかげさまで 僕の日本語が上達できましたし、日本語能力試験2級を取れましたし、友だちもできました。センセー達が頑張っていて教えている姿を見るたびにまた夢をつかもうとしています。もっと早めにオリーブ日本語教室へ通っていればよかったなあ。

日本にはこんなに慣れてきたのに、日本にはこんなに楽しく過ごしていたのになんでインドネシアへ帰らないといけないの？もう少し、延長したかったなあ、もう少し、日本にいろいろなことを教えてもらいたかったなあ、もう少し、センセー達 皆さんと過ごしたかったなあ…でもインドネシアへ帰らないといけない。

最後の最後までセンセー達に、たくさんステキな思い出をもらいました、たくさんプレゼントをもらいました。空港まで友だちが見送ってくれました。これ以上は僕 幸せです。日本に来てよかったです。オリーブ日本語教室へ通っていてよかったです。センセー達 皆さんと出会って本当によかったです。

ありがとー ありがとー ありがとー…

そして2016年6月25日にインドネシアへ帰ってしまいました。

いつか日本へ遊びに行きたいです (^\_^)v

Terima Kasih.

Meidi Alfianto Wahyudi より

(バエヌルさん&メイディさんを囲んで)

(皆の前で挨拶をするメイディさん)





7月17日に大津市ピアザ淡海3階大会議室で開かれたびわこ日本語ネットワーク(BNN)20周年記念シンポジウムに参加された佐野さんからのレポートです

## 災害に備えてみんなで考えよう

～日本語教室の今後の取り組み 外国人も日本人も 自分で自分を守るために～



BOUSAI、TUNAMI。ここ数年、大きな地震が日本各地で起こり、防災への取り組みは行政や自治体でもよく取り上げられていますが、日本語教室が外国籍の皆さんに対して出来る支援とは？滋賀県内の日本語教室ボランティアと一緒に考える防災シンポジウムに参加してきました。多文化共生マネージャーとして災害多言語支援センターの運営に数多く携わってこられた高木和彦さんのお話「災害時の外国人支援～日本語教室に期待すること」では、期待される役割として、①外国人住民に対する防災教育(住んでいる地域の災害リスク、災害用語、防災行動)②災害発生時のキーパーソン(避難誘導、安否確認、情報伝達)③外国人住民との顔の見える関係づくり(毎週日本人と外国人が出会う場所が日本語教室であり、外国人にとっては日本社会との接点)

**日頃から外国人に接している、日本語教師の役割は重要！とのことです。**



<p>話題提供 (14:00～14:40) 「災害時の外国人支援 ～日本語教室に期待すること～」 (特別)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 高木和彦さん</p>	<p>パネルディスカッション (14:50～16:30) パネリスト 滋賀県地域防災アドバイザー 川崎 清一 さん 三重県国際交流財団職員 上原 ジャンカルロ さん (公財)滋賀県民協会員 會田 真由美 さん ボランティア日本語教室指導者 山下 寿子 さん コーディネーター 高木 和彦 さん</p>
--	--

パネルディスカッションでは、外国籍住民の現状、災害時にどのような支援が出来るか、述べられました。BNNから、昨日実施した災害アンケートの報告があり、「実際に災害に遭遇した時に、起きていることを理解し次に何をしたらよいか(行動)」に繋げるため、**防災学習を進めていくことが大切**であると発表がありました。

BNNスピーチ大会で優勝経験者の上原ジャンカルロさんは、外国人は避難所生活が不安で、自分達も支援する側として役に立ちたいが受け入れてもらえるのか？など、率直な意見を聞き、とても考えさせられました。高木さんによると工場のラインで共同作業に慣れている外国人の若い人達は、避難所で何か頼むと仕事がとても早いそうです。草津でも外国人による消防団が結成されましたが、苦しい時には国籍に関係なくお互い支えあう気持ちが大切であると感じました。まずは、自分も防災についてもっと関心を持ち、いざという時に役立つ



プチ情報を身近な外国人に伝えていけたらなと思っています。ぜひ貴方も隣に住む外国人に、  
まずは声かけから♪

(レポート 佐野玲子)



### ——オリーブでがんばっている学習者紹介その8——



(レ・ミン・トゥアットさん)

私はレ・ミン・トゥアットと申します。2年前実習生として日本に来ました。私は日本が大好きです。ベトナムにいた時、新聞やテレビなどで日本の経済、技術はアジアの中で一番発達していると。そのため、大学では日本語を勉強していました。その夢をかなえました。

私が日本を選んだ理由は日本は技術先進国であり日本の経済学そして技術を身に付けたいからです。それに日本の文化を深く理解したいです。自分の日本で学んだ知識は必ず国の発展に貢献できると思います。それから日本全国の各地方の食文化と人々の気質を調べたいです。ベトナムにいたときはテレビで日本の番組を見て日本語を面白く思ったし食べ物もとても美味しそうでとても食べてみたかったです。そのため日本に来ることを決めました。もう一つの理由は新しい環境で勉強したいからです。

今、私は日本に来て2年たちました。この2年間で楽しいことも辛いことも山ほどあったが、これからはどんな困難なことがあっても乗り越えられると思います。友達と切磋琢磨していきたいと思っています。先生方、これからもよろしくお願いします。

### ——オリーブ班紹介その6——



ベトナムから来ている二人です。ベトナムの話がたくさん聞かせてもらい楽しく勉強しています。仕事が忙しくて出席率は悪いですが、仕事が入っていない日は疲れていたり少し体調が悪くてもがんばって来てくれます。(中川)





## 先月の活動 (6月)

日本語教室 6/4(M), 11,18,25(4回)  
 KIFA文化庁助成事業ネットワーク会議  
 6/9 (木) (恩地)  
 KIFA文化庁助成事業運営委員会 6/27 (月) (恩地)  
 まちセン運営協議会全体会  
 6/14(火) (田中一美・前田)  
 B N N会議 6/4(土) (佐野)



## 今月の活動 (7月)

日本語教室 7/2(M), 9,23,30 (4回)  
 KIFA文化庁助成事業打ち合わせ  
 7/8 (金)、7/24 (日) (恩地)  
 まちセン施設部会主催七夕飾りの準備  
 7/1 (金) (田中一美・前田)  
 まちセン施設部会主催七夕飾りを作ろう  
 7/2 (土) (田中一美)  
 まちセン施設部会会議 7/14 (木) (田中一美・前田)  
 BNN会議 7/3 (日) (佐野)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング

●( )内は参加者、または参加予定者。敬称略



## 参加人数(6月)

	6/4	6/11	6/18	6/25
先生	21人	22人	23人	22人
生徒	27人	39人	38人	34人



## 会員の動き(6月)

(入会) なし  
 (休会)(退会) なし  
 (賛助会員) なし



## 中村さんの季節折々 7月(文月)

### マラソンを走り終えたる弁当にぎっしり詰まる近江米あり ケンジ



10月に大阪マラソン大会に出場します。42.195kmと長い距離を走るのだから今から練習しています。走ったあとは滋賀県のごはん(近江米)がオイシイです。  
 みなさんは、ごはん好きですか? (中村 健二)



## お知らせ

国際交流ははじめの一歩 ——ボランティア説明会——

ハートがあれば心は繋がる

日時: 2016年8月9日(火)  
 18:30 ~ 20:30 (受付 18:00~)  
 場所: フェリエ南草津5F 市民交流プラザ 和室  
 (草津市野路 1-15-5)  
 内容: ① 草津市国際交流協会(KIFA)におけるボランティア活動の紹介  
 ② 外国人留学生による二胡の演奏(予定)  
 ③ なるほど ザ・ワールド ビンゴゲーム  
 ④ 交流ティータイム  
 参加費: 無料  
 申込: 7月19日より受付開始、30名 先着順  
 問い合わせ先: KIFA 草津市国際交流協会  
 電話: 077-561-2322  
 E-mail: [kifa-japan@coda.ocn.ne.jp](mailto:kifa-japan@coda.ocn.ne.jp)

文化庁補助事業  
 外国人とバスで行く草津を知ろう編  
 日時: 8月9日(火) 9:15集合  
 場所: 草津市役所立体駐車場前  
 詳細はKIFA事務局に問い合わせして下さい

## 避難訓練コンサート

日時: 2016.9.10  
 時間: 15:00 開演  
 場所: びわ湖ホール大ホール  
 出演: びわ湖ホール声楽アンサンブル他

入場無料です。  
 避難訓練を兼ねたコンサート、興味のある方は是非、ご参加を。

問い合わせ先:  
 びわ湖ホール管理課  
 077-523-7135  
<https://www.biwako-hall.or.jp>

びわ湖ホール声楽アンサンブル  
 ~うたいたくなる あの歌の歌~  
 2016年9月10日(土) 15:00開演(14:00開場)  
 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール  
 入場無料

## 日本語ボランティア指導者養成講座のお知らせ

8月28日(日) 10:00~15:00 野洲コミュニティーセンター  
 主催: BNNびわこ日本語ネットワーク  
 上記の日程で日本語の講習会が予定されています。詳細はオリブ通信8月号にてお知らせします。

## 編集後記

オリブ通信担当も3か月に1度のはずが えっ!もう私の番???時間のたつのが何と速い事...若い人に聞いてもやはり速いと言う。でも私の若い時ってそんなに速くは感じなかったけどなあ...今は社会情勢の変化するスピードがむっちゃ速い。時々、かつての物が十分になかった頃がなつかしく思える。物はなかったけど、心は満たされてたような... (S.E)